

HPE Aruba Networking Wi-Fi 7 APを導入すべき7 つの理由



ますます多くの機能を提供するWi-Fi 7 AP

HPE Aruba Networkingの新エンタープライズWi-Fi 7アクセスポイント (AP) は、最新の標準を超えてワイヤレス性能の最大化、ネットワークセキュリティの強化、ロケーションベースサービスの向上を実現し、セキュアなIoTプラットフォームとしての役割を果たします。その結果、企業はワイヤレス投資の価値を最大化し、運用効率を高めることができます。APには、トラフィックのルーティングだけでなく、それ以上のことができるという考え方が当社の製品哲学の中核です。私たちは、複数のWi-Fi世代を通じ、一貫してこの考え方を発展させてきました。当社は、Wi-Fi 7をサポートし、HPE Aruba Networking Centralと連携してHPE Aruba Networking Wireless Operating System AOS-10を稼働させるHPE Aruba Networking 730シリーズとフラッグシップである750シリーズCampus Access Pointのイノベーションを誇りを持って継続しています。

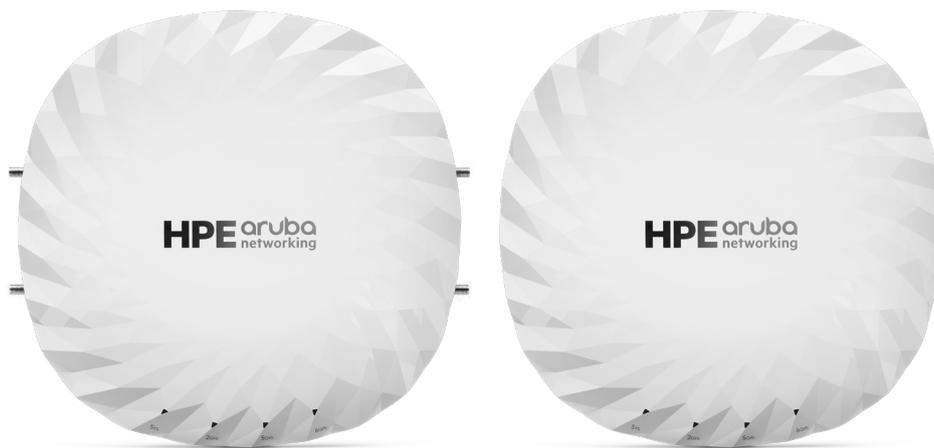


図1. HPE Aruba Networking 730シリーズアクセスポイント

HPE Aruba NetworkingのWi-Fi 7 APを導入すべき7つの理由

1. 無線ユニットと6 GHzの柔軟性によるパフォーマンスの最大化: 最新のWi-Fi、つまりWi-Fi 6EとWi-Fi 7のどちらについても最も大きな前進は、6 GHz帯域の使用を可能にした規制当局による承認でした。これによりキャパシティは2倍に広がったのです。新しい730シリーズAPと750シリーズAPは、2.4 GHz無線ユニットを第2の6 GHz無線ユニット (または5 GHz無線ユニット) として再利用できるフレキシブルなトライバンド無線ユニット構成を利用することにより、6 GHz帯域をさらに大きく活用できます。

また、これらWi-Fi 7 APの使用により、当初は650シリーズAP用に開発され、HPE Aruba Networkingだけのものだった特許取得のウルトラトライバンドフィルタリング (UTB) を使用し、干渉を発生させることなく5 GHzの上位チャンネルと6 GHzの下位チャンネルを同時に使用することが可能になります。この機能は、使用条件が厳しいユースケースをサポートするために最大で30%多くのチャンネルを提供するため、6 GHz帯域が制限されている特定の地域で特に重要です。お客様は、5 GHzのトップか6 GHzのボトムを選択する必要がなくなり、その両方を使用できるようになりました。

2. アンテナの柔軟性: 外部アンテナがサポートされていなかったり、お客様に単一構成を強いたりするような他のベンダー製品とは異なり、730シリーズAPと750シリーズAPは、内部アンテナ付きモデルや、フレキシブルで非恒久的な外部アンテナ接続を備えたモデルを提供しているため、さまざまな業種や物理環境に最適です。

3. 無線セキュリティの強化: 当社は、幅広い無線セキュリティ機能を土台として、イーサネット業界のセキュリティプロトコルであるMACsec¹を無線に導入し、新しいリンクレベル暗号化機能によって、有線のデータ保護をAPにまで拡張しています。当社はさらに、ユーザーデバイスのパーソナライズされたセキュアなセルフサービスオンボーディングを提供するために、HPE Aruba Networking Centralのパーソナルワイヤレスネットワークにも力を入れています。これは、大学の学生寮に住む学生、集合住宅のほか、ホスピタリティ業界のユースケースにも最適です。

¹ 次回のソフトウェアリリースで実装。

4. IoTのサポートが2倍に広がり、APの処理能力が2倍に: HPE Aruba Networking 6xxシリーズAPと比べて、新しいWi-Fi 7 APのIoT機能は2倍になり、IoTプラットフォームとしてのこのAPの用途が広がりました。これらのAPは、BLE/Zigbee用のデュアルIoT無線ユニットと、 dongleを必要とするIoTプロトコル用のデュアルUSBポートを備えているため、IoTの導入を予定しているお客様は、プロトコルを選択しなくても、必要なIoTデバイスをサポートできるようになりました。さらに、旧モデルの2倍のSDRAMとフラッシュメモリを備えているため、アプライアンス上で稼働する仮想マシンがなくても、AP上で稼働するコンテナによるIoTデータの前処理が可能です。これは、AP上で稼働するアプリケーションを介してIoTトラフィックをキャプチャー、変換、ルーティング、および処理できることを意味します。従って、この機能（例えば、クラウド内ではなく、AP上で行われた決定に基づいてドアロックを開けるなど）を実行するために外部サーバーを使用する必要性は小さくなります。

5. 高精度ロケーションサービス: 6xxシリーズAPの内蔵GNSS (GPS) に基づいて、三次元の高さを提供する新しい気圧センサーが位置情報に追加されました。これにより、730シリーズAPと750シリーズAPがフロアレベルを決定し、新しいHPE Aruba Networking Central Floor Planマップ内にAPの位置を3Dで自動表示することが可能になりました。これらのAPは、最新のWi-Fiロケーション規格 (802.11az) を使用して1メートル未満の精度を提供し、双方向IoT位置データ用のBLE 5.4をサポートする唯一の企業向けAPです。これにより、ユーザーエンゲージメントを高め、高価値資産を追跡することが可能になります。これだけの精度は業界で唯一無二のレベルです。従って、位置ベースアプリケーションはさらに充実し、その有効性は高まります。例えば、緊急事態が発生したときには、正確な位置情報がデバイスに直ちに提供され、消防・救急などの速やかな対応を支援します。

6. サステナビリティと省エネルギー: 多くの組織にとってサステナビリティは最優先事項です。AIを活用した新しいダイナミックパワーセービングモードは、APのデューティサイクルを確認して、必要なコネクティビティを損なうことなく、どのAPの電源をオフできるかを勧めてくれます。Centralでの手作業によるカレンダースケジュールリングの代わりにこの機能を使用できるため、企業のエネルギーフットプリントと費用は削減されます。

7. AIインフラストラクチャに不可欠なアクセスポイント: ビジネスユースケースの実現を目的としたIoTの活用は拡大しています。加えて、IoTデバイスは現在、AIトレーニングと推論データの双方で重要なソースとなっています。AIデータレイクがより大きく多様になるほど、AIソリューションは有効になっていくでしょう。IoTのコネクティビティとローカル処理オプションの拡大に伴い、730シリーズAPはお客様のAIインフラストラクチャにとって不可欠な部分になります。

また、もう一つの理由として、HPE Aruba Networking CentralとHPE GreenLake for Networkingによって、Wi-Fi 7 APを0日目からN日目まで簡単に管理可能になることが挙げられます。HPE Aruba Networking Centralは、当社のハードウェアを補完するソフトウェアとして、IoTの運用からPersonal Wireless Network機能、APのフロアプランにいたるまで、お客様のワイヤレスネットワークを管理します。電力プロファイルは、HPE GreenLakeクラウドからアクセスできるサステナビリティインフォメーションセンターだけでなく、Centralダッシュボードにも表示できるため、リアルタイム測定によるリソース消費量の制御が可能になり、詳細で継続的なカーボンフットプリント測定、データ分析、推奨事項が提供されます。

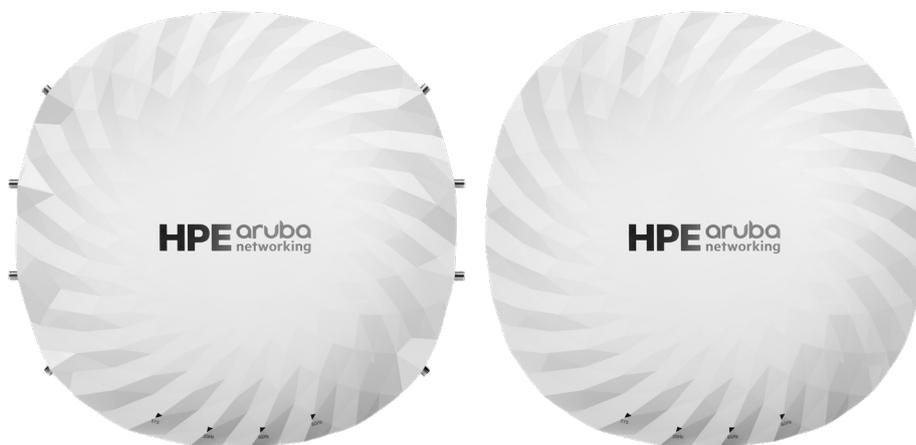


図2. HPE Aruba Networking 750シリーズアクセスポイント



7つのバーティカルユースケース

業種	HPE Aruba Networking Wi-Fi 7 APがもたらすメリット
教育	Wi-Fiアクセスを最適化して学生のエクスペリエンスを向上させ、ネットワーク全体における信頼性の高いカバレッジを場所に関係なく提供します。セキュリティ内蔵型の設計により、IoT運用の効率化、学生や研究に関する機密データの保護だけでなく、シンプルでセキュアなアクセスを実現してIT管理を容易にします。
医療	医療現場全体に信頼性の高いWi-Fiアクセスを提供し、臨床および非臨床のユーザーエクスペリエンスを向上させるとともに、重要なデバイスとアプリケーションを優先させるシームレスな運用を実現します。さらに、機密データの保護を支援する新しいネットワークセキュリティ制御を追加することにより、組織のサイバーセキュリティポスチャを強化し、組織の評判を守ります。
ホスピタリティ	比類のないパフォーマンスとカバレッジを提供し、ホスピタリティ施設全体でゲストとスタッフにシームレスな接続を保証します。高度なセキュリティ機能と高密度処理機能を備えるこれらのAPが、信頼性に優れたセキュアなネットワークエクスペリエンスを実現し、ゲストの満足度と業務効率を高めます。
製造	無線ネットワークにおける産業用IoTデバイスの高密度化をサポートし、AGV、AMR、クレーンといった資産に対して優れた接続性を提供します。より高いスループットと内蔵のセキュリティ制御により、スマートファクトリーに必須の生産/分析ワークロードを追加できます。
小売	ワイヤレス性能の向上とセキュリティの強化により、顧客と関係者はクリティカルアプリケーションの実行を維持できるようになり、ダウンタイムと停電が最小限に抑えられます。小売業者は、付加的なデバイスコンテキストを得られるMLベースのクライアントインサイトを取得し、簡素化されたIoTの統合と管理、強化された耐障害性、完全に可視化されたITおよびOTインフラストラクチャを獲得できます。
スポーツとエンターテインメント	非常に混雑したエリアでも、堅牢で安定したWi-Fiカバレッジを提供します。高度なパフォーマンスとセキュリティ、容易な拡張性を備えるこれらAPにより、ファンのエンゲージメントと運用効率が高まり、優れたイベント体験を提供できます。
輸送	空港、駅、バスターミナルなどの高密度環境における接続性を強化します。車両や貨物のリアルタイム追跡、ビデオ監視、強化された乗客用Wi-Fiサービスといった高度なアプリケーションに対して、より高いスループットと低レイテンシを備える堅牢なサポートを実現し、より効率的でセキュアな輸送サービスを保証します。

Wi-Fi 7 APがビジネスバリューを生み出す7つの方法

730シリーズAPと750シリーズAPは標準の枠を超え、現在から将来にわたって価値を提供します。お客様は次のことが可能になります。

1. APをワイヤレスコネクティビティ以外の用途にも活用することにより投資を最大化する。
2. 要求の厳しいアプリケーションやIoTユースケースに対して、優れたWi-Fiエクスペリエンスと信頼性を提供する。
3. APをIoTプラットフォームとして利用することによりコスト節減を実現し、IoTオーバーレイネットワークの必要性を低減する。
4. ロケーションアウェアなユースケースとエクスペリエンスを新たに生み出してビジネスを支援する。
5. 使用されていないときにインテリジェントに電源をオフにするAPにより、サステナビリティの取り組みに貢献する。
6. IoTデータ取得の時点でリアルタイムに処理することにより、AIトレーニングとワークフローを統合し、向上させる。
7. ワイヤレスエッジに暗号化セキュリティ機能を追加提供することにより、セキュリティを強化する。



詳細を知るための7つのリンク

HPE Aruba Networking Wi-Fi 7ソリューションの詳細については、下記のリンク先をご覧ください。

- [プレスリリース](#)
- [発表ブログ](#)
- [Wi-Fi 7アクセスポイント](#)
- [IoTプラットフォームとしてのAP - ソリューション概要](#)
- [Wi-Fi 7とは](#)
- [AOS-10の概要](#)

[HPE.comにアクセス](#)

最適な導入検討を。
HPEのプリセールススペシャリストにお問い合わせ
合わせください。



お問い合わせ